

令和8年度 第1学年 数学科 年間指導計画 予定年間授業時数： 140 時間
使用教科書：東京書籍「新しい数学 1」
使用副教材：新学社「スパイラル式！数学のパターン演習」、Qubena
教科の学習目標： ① 基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身に付け、数学的な思考力・判断力を育てる。 ② 言葉や式、図、グラフなどを適切に用いて自分の考え方をわかりやすく説明し、表現する力を育てる。 ③ 数学のよさを知り、数学が生活に役立つことや科学技術との関係などの理解を深め、自分の生活に活かしていくことを考えるようにする。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	0章 算数から数学へ	・今後の学習に向けての「大切にしたい学び方」を意識づけさせる。整数の性質や素因数分解などについて知る。
	1章 正負の数	・正の数、負の数の意味や大小関係を理解し、正の数、負の数の加減乗除の計算を学ぶ。
	2章 文字と式	・文字を用いることの必要性和意味を理解し、数量の関係を文字や文字式で表し、計算をする。
2	2章 文字と式	・文字を用いての等式や、不等式について学ぶ
	3章 方程式	・方程式とそれを解くことの意味を知り、等式の性質を使った1次方程式の解法を理解し、1次方程式の解き方を学ぶ。
	4章 比例と反比例	・具体的な事象のなかのともなって変わる2つの数量（関数）に着目し、表、グラフ、式などで表し、比例、反比例について学ぶ。
	5章 平面図形【ICT活用】	・平面において、直線や円、2直線の位置関係などについて理解し、図形を考察するための基礎を学ぶ。
3	5章 平面図形【ICT活用】	・図形の移動の概念を理解し、基本的な作図の方法について学ぶ。
	6章 空間図形【ICT活用】	・空間図形や、図形の計量について学ぶ。
	7章 データの分析と活用【ICT活用】	・データの傾向の読み取り方を学ぶ。

評価の観点・方法 …以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動を評価します。		
観点（割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1（33%） 知識・技能	正負の数の意味、文字式の必要性和意味、1次方程式、比例・反比例の意味や平面図形・空間図形の意味、代表値などの意味を理解し、知識を身に付けている。 正負の数の四則計算や文字式の計算ができ、数量の関係や法則を、方程式などを用いて表現し処理したり、図形の性質について簡潔に表現したり、代表値を求めたりするなどの技能を身に付けている。	定期考査 休み明けテスト 小テスト
観点2（33%） 思考・判断・表現	知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見出したり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察したり、表現することができる。また、学習した単元を活用して、具体的な事象について考察し、表現することができる。	定期考査 休み明けテスト 小テスト
観点3（34%） 主体的に学習に取り組む態度	様々な事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見出したりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、生活や学習に活用しようとしていたり、問題解決の過程を振り返ったりしようとする。	授業中の様子 （態度・発言） 提出物 小テスト

